

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	職業関連技術論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部2年	学期及び曜時限	前期 土 2・3・4	教室名	802
担 当 教 員	永田 穰				
実務経験と その関連資格	作業療法士として福祉施設で身体障害者リハビリテーションを中心に37年勤務。 脳血管障害、頭部外傷、脊髄損傷、上肢外傷等の身体障害者リハビリテーション全般に従事。 これまでに、身体障害者リハビリテーション症例を2,000症例以上担当してきた。認定作業療法士資格所持。 日本作業療法士協会会員。				
《授業科目における学習内容》					
①職業リハビリテーションの概念、就労支援制度、職業評価等を学ぶ ②厚生労働省編一般職業適性検査を体験する ③精神障害者、身体障害者、高次脳機能障害者、知的障害者の就労支援方法を学ぶ					
《成績評価の方法と基準》					
①筆記試験 80% ②レポート:厚生労働省編一般職業適性検査(進路指導・職業指導用) 20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
①作業療法学全書 改訂第3版 第12巻 作業療法技術学4 職業関連活動 日本作業療法士協会編集 平賀昭信・岩瀬義昭 監修:協同医書出版.2009 ②厚生労働省編一般職業適性検査(進路指導・職業指導用)厚生労働省編集:一般社団法人雇用問題研究会 2013					
《授業外における学習方法》					
下記に記載の「授業以外での準備学習の具体的な内容」を授業前に調べたり、授業後に確認してください					
《履修に当たっての留意点》					
使用教材「②厚生労働省編一般職業適性検査(進路指導・職業指導用)厚生労働省編集:一般社団法人雇用問題研究会 2013」は第5回授業で配布する					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標 就労支援に関する理論を説明できる 各コマにおける授業予定 ①職業リハビリテーションの概念モデル ②Maslowの欲求階層モデル ③職業発達段階 ④個人特性の階層構造	作業療法学全書 改訂第3版 第12巻 作業療法技術学4 職業関連活動 日本作業療法士協会編集 平賀昭信・岩瀬義昭 監修:協同医書出版.2009	授業後に職業リハビリテーションの概念モデル、Maslowの欲求階層モデル、職業発達段階、個人特性の階層構造を確認する		
第2回	授業を通じての到達目標 職業関連活動の概念について説明できる 各コマにおける授業予定 ①多様な働き方、障害者雇用の現状 ②障害者の雇用の促進等に関する法律 ③障害者の範囲および確認	同上	授業後に就業の形態、障害者の雇用の促進等に関する法律、障害者の範囲を確認する		
第3回	授業を通じての到達目標 障害者の就労支援制度について説明できる 各コマにおける授業予定 ①職業リハビリテーションの措置 ②関連施設とサービスの概要 ③障害者雇用率制度と障害者雇用納付金制度 ④障害者自立支援法(障害者総合支援法)	同上	授業後に職業リハビリテーションの措置、関連施設、障害者雇用率、障害者自立支援法(障害者総合支援法)を確認する		
第4回	授業を通じての到達目標 就労支援における作業療法について説明できる 各コマにおける授業予定 ①就労支援技術 ②就労支援における作業療法の役割 ③検査による査定、評価尺度による評価、作業場面を利用した評価④作業療法治療(訓練)過程	同上	授業後に就労支援における作業療法の役割、検査による査定、評価尺度による評価、作業場面を利用した評価法を確認する		
第5回	授業を通じての到達目標 厚生労働省編一般職業適性検査を実施できる 各コマにおける授業予定 ①厚生労働省編一般職業適性検査を被験者として体験する ②被験者として体験した厚生労働省編一般職業適性検査結果を自己採点する	厚生労働省編一般職業適性検査(進路指導・職業指導用)厚生労働省編集:一般社団法人雇用問題研究会 2013	授業後に厚生労働省編一般職業適性検査の適性能を確認する		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	精神障害者の就労支援方法を説明できる	作業療法学全書 改訂第3版 第12巻 作業療法技術学4 職業関連活動 日本作業療法士協会編集 平賀昭信・岩瀬義昭 監修:協同医書出版.2009	授業後に統合失調症の就労支援における重要な概念、職場におけるメンタルヘルスケアの4つのケアを確認する
	各コマにおける授業予定	①統合失調症の病態、障害特性、評価概要、問題点・ニーズ、基本プログラム、治療上の留意点 ②うつ病の病態、障害特性、評価概要、問題点・ニーズ、基本プログラム、治療上の留意点		
第7回	授業を通じての到達目標	身体障害者の就労支援方法を説明できる	同上	授業までに身体障害者の病態、障害特性を調べる
	各コマにおける授業予定	①身体障害の病態、障害特性、評価概要、問題点・ニーズ、基本プログラム、治療上の留意点		
第8回	授業を通じての到達目標	高次脳機能と知的障害者の就労支援方法を説明できる	同上	授業までに高次脳機能障害と知的障害の病態、障害特性を調べる
	各コマにおける授業予定	①高次脳機能障害の病態、障害特性、評価概要、問題点・ニーズ、基本プログラム、治療上の留意点 ②知的障害の病態、障害特性、評価概要、問題点・ニーズ、基本プログラム、支援上の留意点		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			